



## 東北・関東大震災

「被害者支援の集い」に光受寺門徒29名、および岐阜教区第11組の各寺より150名の方に参加していただきました。全国からも第一期法要期間(3月19日～3月28日)までに約35,000人が参加され、被災された御同朋に憶いをいたしました。とても意義ある法要であったことを報告いたします。本山職員、教務所職員の派遣。救護物資(水、食料品など)23t、見舞金一億三百万、東京教区へ2,000万円等。その他全国の各教区から救護金が届けられています。岐阜教区も500万円の支援金をお届けする予定となっております。光受寺の割り当て金額が2万円のとなっておりますので、年会費より出費させていただきますのでご了承ください。

## しだれ梅ライトアップ

今年も大変多くの方々に楽しんでいただくことができました。

中部国際空港・セントレアにも東海の名所として紹介されているようで驚きました。

ライトアップははじめての試みでしたが、多くの方に見ていただくことができ、また一つ新たな計画が生まれそうです。

私も、「言うは易く行は難し」ですが、眠れぬ夜はお念仏を唱え、「ありがと」と心に念じつつ残りの人生を生きたいと思います。

- 人を責めるが如く自己を責めよ
- 自己を許すが如く人を許せ
- 我を愛する心を以て人を愛せよ

西郷南州翁の遺訓として  
昨年六十年ほど生活を共にした伴侶が、八十八歳で「ありがと」の言葉を残し、黄泉の国へ旅立ちました。人生一度は逝かなければならない、そして永遠の別れの来ることを知りつつも、私の心にぽっかりと穴の開いたような寂しさを感じていましたが、家族や友人に支えられ自分なりに残りの人生を充実した日々を過ごそうと思いはじめました。そんな折でした、主人の遺品を少しずつ片付けていると老人会誌にでも発表したのが、こんな文章が書かれていました。

「恙なく 齢重ねて 月拜む」昨年こんな駄句を、生まれて初めて作りました。八十年生かされて、長い一生の間には山あり谷あり、喜びも悲しみもありましたが、今ここに生かされていることを本当に感謝しなければ、と思えます。

## 人生の節目談義

「八十路を生きて」

一ツ木

M.Fさん

## しだれ梅 ライトアップ 祖父江 Y.Mさん

三月十二日、風もなく静かで暖かい夜。光受寺境内のしだれ梅ライトアップに出かけました。

昼とは違って、門前まで梅の香りが漂い、参道の正面には一直線に「阿弥陀さまのお姿が見え、私たちに呼びかけていらつしゃるよう」に思えました。

大きなしだれ梅の根元からライトが当てられ、夜空に浮かぶ優しい梅の色は、とても幻想的で美しいと思いました。

この感動を来年は友達にも分けてあげたいと思いました。

# ありがとうございました。

## 光受寺改修工事について

門信徒の皆様には、勧募をお願いいたしましたところ、早速のご回答をいただきまして誠にありがとうございました。おかげをもちまして徐々にではありますが予定勧募金額に、数字上では達しつつあります。しかしまだ十分な状況とは言えず、さらなるご支援のほどよろしく願いいたします。

今後、皆様個々の勧募計画をもとに、全体の勧募合計金額を算出し、工事着工時期等の具体的な計画を立てていく予定です。早ければ今年中の着工となります。(通信にて報告)

今後とも皆様のより一層のご理解と、ご協力をお願い申し上げます。 合掌

## 「梅まつり」会期中の淨財 8万5千円を超える

先月号で「お賽銭箱が届いた」という記事をお読みいただいたと思いますが、会期中参詣者からのお賽銭が合計で85,440円ございました。「みんなの力で」の御心をいただき、すべて光受寺改修工事に充てさせていただきます。ありがとうございました。 合掌

## 掲示板



今年はこんな感じでした。

## 報徳会

## 廣蓮寺(祖父江)にて

四月十四日(木)・十五日(金)  
十五日午後住職法話いたします。



三月十日(金)朝刊  
にて紹介

## 光受寺 ホームページ、開設を予定。

住職の念願の一つでしたホームページの開設をめざして、ただ今住職勉強中です。インターネットが今年八月につながる予定となっております、その時期に合わせて準備を進めています。

教化活動の一環として、光受寺より発信していきたいと意気込んでいます。どのような内容にするのか等未定のことが多いのですが、皆さんのご意見をお聞きしながら進めていきたいと思っておりますので、ぜひご協力をお願いいたします。

この年令になりますと、なかなか覚えも悪く、事が順調には進みませんが、阿弥陀さまの「おかげ」を感じながら、突き動かされているような状況です。